



「心のシンボル」

館長 泉森 由貴

暖かい日が続いているせいか、濃い霧が立ちこめます。朝日に照らされた飛火野。逆光に浮かぶ鹿たちとそれをファインダーに収めようとするカメラマン。絵はがきの世界に入り込んだような晩秋の奈良です。田原では十輪寺の銀杏が今年はひととき綺麗に色づいていました。

さて、4月に発生した熊本地震から早いもので7ヶ月が過ぎました。避難所は全て閉鎖となり、各地からの派遣職員は引き上げられ、一定の回復をみせています。しかし、震度7の益城町を中心とした未曾有の大災害は死傷者1500人を数え、15万軒の住宅が全半壊、一部破損の被害を受けました。4月だけで120回の揺れが発生したこの地震は11月になってもまだ余震が続いています。自然災害とはいえ、被災された方の心情は如何ばかりかと心を痛めます。

特に私が印象的だったのが、熊本城そばの城東小学校の3年生の涙でした。地震発生から数日間、学校も被害を受け混乱の状況でした。いよいよ授業再開となった日。子どもたちの目に飛び込んできたのは、校舎の窓越しに映る変わり果てた熊本城でした。城東小学校のホームページには「どの教室から熊本城をみることが出来ます」とあります。毎日、城の勇姿を眺めてきた

平成28年
12月号

発行 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 田原公民館
奈良市茗荷町1078-1
TEL 81-0888
発行責任者 泉森 由貴

子どもたちの心のシンボルが無残な姿をさらしているのです。校歌にも謳われた熊本城。校歌斉唱にはじまった授業でついに涙をこぼしてしまいました。学校が始まった安心とシンボルの崩壊そして地震への不安複雑な気持ちがあふれ出たのでしょうか。でも、その直後「城を見てがんばらない」という強い眼差しを向けていました。



絵 平古力三

奇しくも熊本城の別名は銀杏城です。籠城の際、食糧にできるよう加藤清正が城内に植えたと伝えられています。きっと今頃美しい紅葉が子どもたちを勇気づけているはず。今年の田原なんでも文化祭のバザー売上はすべて熊本の復興のために寄付いたしました。あの子どもたちの笑顔につながる活動となれば嬉しく思います。そして、ここ田原公民館もいつか田原の心のシンボルになれるよう頑張っています。今年も一年ありがとうございました。

ありがとうございます
田原なんでも文化祭

公民館だけでなく、地域の皆さんの発表の場、田原なんでも文化祭を開催し、今年もたくさんの方のご支援のもと大盛況の2日間となりました。地域の体育まつりの後、かばちゃ展と菊花展に始まったこの文化祭。11月5日、6日の当日は終了まで多くの来場者にお越しいただき、歓声と笑いの絶えない賑やかな時間となりました。

今回は田原やま里博物館の各館の作品展。この日のために作成した竹のオブジェと夏に作成した竹のスタードームの屋外展示。竹工房の上畑さんによる籠づくり体験の他、5日土曜日はチャリティバザー、うどんと朴葉寿司の販売、こんにゃくや陶芸品、パッチワークの販売。キッズのお菓子ふろま、パフォーマーのもつていのジャグリング。そして子どもたちによる綿菓子販売。6日日曜日は、名物しし汁のふるまい、おにぎりの販売、グループの舞台発表の後、小さな小さな音楽会と題して地元奈良のアーティスト金子ゆかさんのアコースティックライブを開催しました。バザーの売上金は39,475円となり全額熊本地震災援金といたしました。ご協力いただいた皆さん、お越しくくださった方々、今年も本当にありがとうございました。



TAWARAキッズのお菓子づくり



お昼のうどんは大人気です



プチ田舎暮らし・田原

—米糍味噌作り—

昔は各家庭で作られてきた味噌。
2回に渡って米糍から仕込み
までを体験しませんか。

日時：1月19日(木)26日(木)
午前10時～正午

場所：田原公民館 料理実習室
対象：奈良市在住・在勤・在学の成人16人
(2回とも参加できる方)

費用：1,200円 3kg程度
要申込

〆切：1月6日(金)



初々しい司会の中井さん



籠を丁寧に編み込んでいきます



素敵な作品展に見とれます



地域の作品も一堂に会します



美しい歌声を聞かせてくれました



大迫力の学習発表



博物館の職人による展示



ジャグリングに夢中になりました



第16回「冷凍庫を眺めて思うこと」

今、冷凍庫のスペースの大半、というかはほぼ全てを占めているもの。「餅」です。

秋は、お祭りや行事でたくさんのお餅をいただきます。そういえば関西地方は丸餅ですね。奈良に来てお餅を見た時、「あ、そうか、丸いんだ」とちょっと驚きました。

民俗学のことばに「ハレ」と「ケ」というものがあります。「ハレ(晴れ)」とは行事や祭りなどの「非日常」、「ケ(憂)」とは普段の生活である日常を表しているのだそうです。

その「ハレ」の日の食べ物。その代表格が餅です。奈良では見たことがありませんが、実家のある愛知県では新築の家の棟上げが終わると、屋根の上から「餅まき」をやっていました。友人の結婚式でもやっていました。あります。たまにおひねり(多くても50円玉くらいですが)もあり、近所の大人も子どもも必死になって拾います。鬼気迫るその光景は、まさに非日常でした。



こんなかんじのお餅が天から降ってくるのです。当たると痛い。
餅まきのお餅は丸もちでした、そういえば。

田原でさまざまな行事を見学させてもらったり、参加すると、「餅」の登場回数が多いことに驚きます。

「なにかというと餅やったなあ」とおっしゃる方も多いですね。先ほどの「ハレ」の話に戻りますが、非日常の祭礼や行事ごとに食べられていた、と書きました。秋の収穫物で神様に捧げるのに欠かせないのが「米」ですが、それを手間暇かけて凝縮した「餅」はさらに大切な食べ物だったそうです。

田原では、先人たちの守ってきたハレの行事が今も多く続いている。ということは、ハレの日の食事の順番も多くなる。だから、こんなに餅を目にする機会が多いのではないかな、と我が家の餅で埋まった冷凍庫を見てはんやりと考えてみました。



さてこの餅たち、どうやって食べていくのか…と考えあぐねていると、公民館のあずき作りの講座でいただいたあずきが目につきました。まずはこれでぜんざいを炊くことにします。

そして今年も一年無事に過ごせたことを感謝しながらいただくことにしましょう。
みなさま、よいお年を。



おはぎを作っているところです。
通常のあずきと白あずきも作りました。

田原散策サイクリング
秋晴の気持ちのよい一日でした

田原を一日で歩くことは難しいもの。ならば、自転車ではどうでしょうか。そんな発想から企画した「田原散策サイクリング」を11月17日に実施しました。寒くも暑くもない日、最高の紅葉を楽しみながら、高原の空気をたくさん吸い込んだ皆さん。今回初めて公民館活動に参加された、受講生の声をどうぞ。

学園新田町 神馬久美代さん

田原って何があるの?何年振りに乗る自転車は大丈夫?と思いながら、奈良市西部から約40分で田原に到着。

奈良市内なのに空気も景色も全く違うことに気づかされます。田舎だけど豊かな暮らしがありそうで、心が癒されます。

丁度紅葉がすごくきれいで、絵になる所がいっぱい。地元野菜のランチをいただいた、高台にある十輪寺からの景色は絵ハガキのようでした。

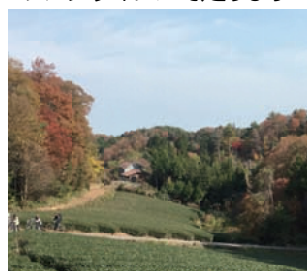
自分では回れない所を館長さんやスタッフの方々に案内していただき、田原の魅力を発見できました。

ただ、自転車でのアップダウンはきつく、もっと体力をきたえないといけないと実感しました。

大変お世話になり、ありがとうございました。



レンタサイクルで走ります



見事な紅葉に癒やされました

12月の公民館行事とその他のお知らせ

- 3日(土) 第7回 TAWARAキッズ クリスマス会 10:00~11:30
8日(木) 奈良市家庭教育支援事業
こどものスマホあんしん講座 19:00~20:30
9日(金) プチ田舎暮らし・田原—果樹剪定—10:00~12:00
14日(水) 第2回 プチ田舎暮らし・田原—くし柿としめ縄—
13:00~16:00
23日(金) 天皇誕生日のため休館

年末、年始の休館日・休業日

田原公民館: 12月26日(月)~1月5日(木)

田原連絡所: 12月29日(木)~1月3日(火)

Merry Christmas

教育ボランティアサークル
アンダンテと公民館のクリスマス会

参加は自由、幼稚園までのお友達もお家の方と一緒に

- 日時: 12月3日(土) 午前10時~11時30分頃まで
- 場所: 田原公民館 2階集会室
- 参加費: 無料
- 内容: クリスマスツリーの壁掛け作り、ハンドベルの演奏、分かるかなクイズ、お菓子バイキング、ショート映画会など楽しいプログラムがいっぱいの1時間30分です。